

# 自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童の育成

－道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導の工夫を通して－

## I 主題設定の理由

本校では、「豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童の育成」を目指し、「思いやりのある子」「自ら学び考える子」「心も体もたくましい子」を具体目標に据えて、日々の教育活動を展開している。

近年、我が国では、いじめの問題に起因して、子どもの心身の発達に重大な支障が生じる事案や、尊い命が絶たれるといった痛ましい事案まで生じており、いじめを早い段階で発見し、その芽を摘み取り、全ての子どもを救うことが喫緊の課題となっている。

このような現状の下、平成 26 年 10 月 21 日、中央教育審議会から「道徳に係る教育課程の改善等について」の答申が示され、道徳教育の要である道徳の時間を、「特別の教科 道徳」（道徳科）として制度上位置付け、道徳教育の改善・充実に向けて必要な事項が示された。この答申を踏まえ、平成 27 年 3 月 27 日、文部科学省から、小学校学習指導要領等の一部改正が公表された。本改正は、平成 27 年 4 月 1 日から移行措置として、その一部又は全部を実施することが可能であり、平成 30 年 4 月 1 日から全面実施することとなっているため、全国で本格実施に向けての準備が始まっている。

本改正では、中教審答申をふまえ、「発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題ととらえ、向き合う『考える道徳』、『議論する道徳』へと転換を図るものである。」とあり、児童の「道徳性」を養うために必要な道徳における学習について、以下の 4 点が具体的に書かれている。

- 1 道徳的諸価値について理解すること
- 2 自己を見つめること
- 3 物事を多面的・多角的に考えること
- 4 自己の生き方についての考えを深めること

以上の学習を通して、「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことをくり返すことで道徳性を養っていくのだと書かれている。

さて、本校では、昨年度まで 3 年間、「算数科において考え表現する力を身に付けた児童の育成」を主題として、研修を行ってきた。その結果、全国学力学習状況調査において、全国平均を下回る成績だった本校が右肩上がりに成長を続け、特に昨年度は、算数 A B ともに大きく上回ることができた。しかし、全国平均と比べ自己肯定感が低く、そのため、失敗をおそれずに挑戦する心のたくましさの不十分であること、友達の前で自分の考えを発表することに対することへの自信のなさ、そして、地域社会のために自分も役に立てるという自己有用感が低いという課題が見られた。

そこで、今年度は、道徳の学習を行うことで、道徳的諸価値の理解のもと、自己を見つめ直し、友達と話し合ったり、体験的な活動を取り入れたりすることで、自分のよさに気付かせ、よりよく生きていこうとする心を育てていくことにした。それにより、本校の学校教育目標である、「豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童の育成」を具現化できると考え、本主題を設定した。

## II 研修期間 平成 28 年度～平成 30 年度

## III 研修のねらい

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導を工夫して行えば、自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童を育成することができることを、実践を通して明らかにする。

#### IV 仮説

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導として以下の2点を工夫して実践することにより、自分のよさに気づきよりよく生きようとする児童を育成することができるであろう。

- 1 展開前段において、児童の実態と資料の特質をおさえた発問構成を工夫することで、ねらいとする道徳的価値について理解できるようにする。
- 2 展開後段において、特別活動や日常生活での体験を話題として提示し、道徳的価値についての理解を基に感じたこと考えたことを友達と交流することで、自分の生き方についての考えを深められるようにする。

#### V 研修の内容と方法

##### 1 研修の内容

##### (1) 基本的な考え方

##### ①「自分のよさに気づきよりよく生きようとする児童」とは

本校では、「自分のよさに気づきよりよく生きようとする児童」を「道徳的諸価値についての理解を基に自分を見つめ、友達と考えを交流し合う中で、自己の生き方についての考えを深め、これからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度を身に付けようとする児童」と、とらえる。具体的には以下のとおりである。

|  |   |
|--|---|
| 「道徳的諸価値について理解する」とは                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階を考慮して児童一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要な者として取り上げられた内容項目を、人間としてよりよく生きる上で大切なものであると理解すること。(価値理解)</li> <li>・しかしそれを分かっているにもかかわらず、なかなか実現することができない人間の弱さを理解すること。(人間理解)</li> <li>・それを実現した(実現できなかった)ときの感じ方、考え方は人によって違うということを理解すること(他者理解)</li> </ul>   |
| 「自分を見つめる」とは                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的諸価値についての理解を自分との関わり(これまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方)と照らし合わせながら考え、自己理解を深めること。</li> </ul>   |
| 「友達と考えを交流し合う」とは                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人が、道徳的諸価値の理解を基に、物事を様々な視点から考え友達と話し合うこと。</li> </ul>  |
| 「自己の生き方についての考えを深める」とは                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が道徳的諸価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止め、自分のよさに気付いたり伸ばしたい自己を深く見つめたりすること。また、これからの生き方をさらによいものにしていくという思いや願いを深めること。</li> </ul>   |
| 「これからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度」とは | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間のねらいとして設定される判断力や心情、実践意欲・態度のことである。</li> <li>・道徳的な判断力…人間として生きるために道徳的価値が大切であることを理解し、様々な状況下でどう対処したらよいかを判断する力。<br/>例、「あのとき、ぼくはこうすればよかったんだ」</li> <li>・心情…道徳的価値の大切さを感じ取り、善い行いをすることを喜び、悪い行いを嫌う感情<br/>例、「あの子のあの行動、いいな。まねしたいな。」</li> <li>・実践意欲…道徳的心情や判断力を基盤とし、道徳的価値を実現しようとする意志<br/>例、「よし、明日の〇〇の行事の時には、この考え方を使うぞ」</li> <li>・実践態度…道徳的実践意欲に裏付けられた道徳的行為への身構え</li> </ul> |

例、「この場面ではこんな行動をすればいいよね」

## ②「自分の生き方についての考えを深めさせる指導の工夫」とは

児童にこれからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度を身に付けさせるためには、展開後段において自分の生き方についての考えを深める活動を充実させる必要がある。そのためには、教師自らが道徳的価値に対する考えを深め、副読本等の資料分析と児童の状況分析を十分に行ったうえで、以下のように指導を工夫していく必要があると考える。

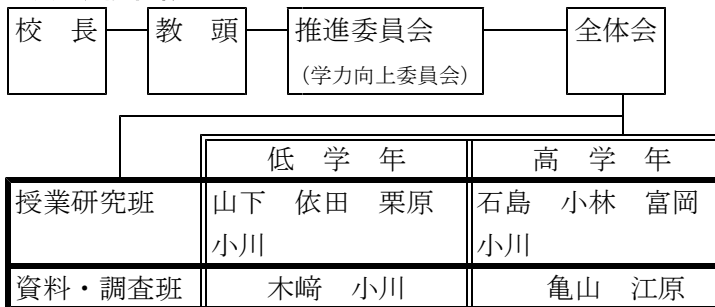
- ・展開前段における、副読本等の資料に描かれた道徳的価値の理解を促すための発問構成の工夫
- ・展開後段における、道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止め、自分のよさや課題に気付くようにするための活動の工夫

具体的には、前者については、児童が葛藤したり、多様な考えを出したくなったりするような中心発問を考えていきたい。また、中心発問へつなげるための基本発問、児童の心に揺さぶりをかけるための補助発問を考えていきたい。後者については、自分自身の問題として受け止めやすくするため、児童の日常的な場面や特別活動での体験談や写真、ビデオをねらいに合うかどうか精査した上、用意しておきたい。また、自分のよさや課題に気付くようにするための活動として、自分の考えを書いたり、実際に具体的な道徳的行為を行ったり、友達と道徳的事象に関して多面的・多角的に考え話し合ったりすることを通して、互いに考えを交流しあう場を設定したい。

これらの指導の工夫を年間を通して行っていけば、本校が目指している「自分のよさに気づきよりよく生きようとする児童」を育成することができると考える。

## 2 研修の方法

### (1) 研修組織



### (1) 授業研究班

低学年・高学年ブロックごとに授業実践のための教材研究・指導案検討を行う。ただし研究授業は全員による参観と授業研究会を行う。

### (2) 資料・調査班

道徳の授業にかかわる掲示物や資料の作成と児童の意識調査を中心となって行う。

※小川学力向上コーディネーターはすべての班に関わる

### (2) 研修計画

#### ○研究授業

| 期日    | 授業者名               | 年組   | 教科等 | 主題・教材名               | 備考       |
|-------|--------------------|------|-----|----------------------|----------|
| 10/5  | 木崎 正美              | 5年1組 | 専理科 | 「台風接近」               | 校内研究授業①  |
| 10/12 | 山下久美子              | 1年1組 | 下道徳 | 「よいと思うことを」1-(3) 勇気   | 校内研究授業②  |
| 10/17 | 木崎 正美・山下久美子教諭授業研究会 |      |     |                      |          |
| 10/18 | 富岡 浩文              | 6年1組 | 上道徳 | 「続けること」4-(4) 勤労・社会奉仕 | 校内研究授業③  |
| 10/19 | 富岡浩文教諭授業研究会        |      |     |                      |          |
| 11/29 | 依田 匠               | 2年1組 | 下道徳 | 「正直な心」1-(4) 正直誠実・明朗  | 中期指導主事訪問 |
|       | 小林 美穂              | 5年1組 | 上道徳 | 「父母の愛」4-(5) 家族愛      | 中期指導主事訪問 |
| 12/6  | 石島 裕也              | 4年1組 | 上道徳 | 「」1-(2) 勤勉・努力        | 校内研究授業④  |

|           |                    |      |   |    |               |         |
|-----------|--------------------|------|---|----|---------------|---------|
| 1 2 / 8   | 小川 友紀              | 5年1組 | 専 | 音楽 | 「曲想を味わおう」     | 校内研究授業⑤ |
| 1 2 / 9   | 栗原久仁子              | 3年1組 | 下 | 道徳 | 「母の愛」4-(5)家族愛 | 校内研究授業⑥ |
| 1 2 / 1 2 | 石島 裕也・栗原久仁子教諭授業研究会 |      |   |    |               |         |
| 1 2 / 1 3 | 江原 文子              | 特別支援 | 専 |    |               | 校内研究授業⑦ |
| 1 2 / 1 9 | 江原 文子教諭授業研究会       |      |   |    |               |         |

## ○研修会

※印は、学力向上委員会

| 月  | 日                                  | 推 進 委 員 会                  | 全 体 会   |
|----|------------------------------------|----------------------------|---|
| 4  | 4 日<br>7 日<br>11 日                 | 主題・サブテーマ等検討<br>主題・サブテーマ再検討 | <b>1学期の指導戦略検討※</b>  |
| 5  | 9 日<br><u>18 日</u>                 | 研究計画書検討                    | 主題・サブテーマ等確認<br>中期指導主事訪問授業者決定<br>指導案形式確認   |
| 6  | 6 日<br>13 日<br>16 日<br><u>22 日</u> | 児童意識調査設問検討                 | 児童意識調査設問決定・実施<br>前期指導主事訪問<br>月1回算数スキルアップ研修①   |
| 7  | 4 日<br>20 日                        | 今後の研修について                  | 今後の研修について   |
| 8  | 24 日<br>29 日                       | <b>2学期の指導戦略検討※</b>         | 夏季研修会報告<br>紀要について   |
| 9  | 2 日<br>5 日<br><u>28 日</u>          |                            | 市小学校長会研修会（道徳研修会）二小にて<br>月1回算数スキルアップ研修②<br>児童意識調査結果報告会<br>学力学習状況調査結果分析報告会<br>横手 SC による講習「動物エゴグラム検査結果の活用」 |
| 10 | 3 日<br><u>26 日</u>                 |                            | 月1回算数スキルアップ研修③（企画委の後）<br>中期指導主事訪問指導案検討（各ブロックで）  |
| 11 | 14 日<br>29 日                       |                            | 中期指導主事訪問指導案検討（全体で）<br>中期指導主事訪問  |
| 12 | 12 日<br>22 日                       | <b>3学期の指導戦略検討※</b>         | 月1回算数スキルアップ研修④  |
| 1  | 10 日<br>16 日<br><u>25 日</u>        |                            | 3学期の指導戦略確認<br>月1回算数スキルアップ研修⑤<br>CRT分析の仕方について<br>紀要原稿（各学年・教科の実践）執筆終了・校正                                  |
| 2  | 上旬<br>13 日<br><u>22 日</u><br>27 日  | 研修の成果と課題<br>来年度の方向性について    | 児童意識調査実施<br>児童意識調査結果報告<br><br>CRT分析結果報告（国語・算数）<br>紀要完成予定  |

**(3) 検証方法**

| 検証の観点                    | 場面   | 達成目標（具体的な姿）   | 方法                      |
|--------------------------|------|---|-------------------------|
| 道徳的諸価値について理解できたか         | 展開前段 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について自分なりの考えをもっている</li> <li>・友達のことを聞いて、いろいろな考え方があることに気付いている。</li> </ul>   | 観察<br>発表<br>話し合い        |
| 自己の生き方についての考えを深めることができたか | 展開後段 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の行事・活動や、道徳的行為の疑似体験を事例として、様々な視点から話し合った結果、自分自身のよさや課題に気付いている。</li> <li>・これまで気付かなかった新しい考え方や、自分の考えが深まったことに気付いている。</li> </ul> | ノート<br>ワークシート<br>道徳意識調査 |

**(4) 研修の全体構想図**